



研究テーマ

金沢オリジナルネクタイデザイン制作

目的・概要

前回、株式会社クレイと本学の産学連携により商品化された「金沢オリジナルネクタイ」デザインが好評なため、第2弾を発売することになり、デザイン制作の申し入れがあった。今回も商品化を前提としたデザイン提案を求められ、製造メーカー担当より、ネクタイに求めるイメージやモチーフなどのオリエンテーションを受け、デザイン科3専攻を中心に募集を行った。提案された22名（40案）の中から市場で販売できる可能性があるデザイン案6名（6点）が採用された。採用後は商品として販売できるよう、細かい指示が出されデータ修正、色校正から完成まで一連の現場作業を体験した。

成果

前回の金沢ネクタイは累計で10,000本を超える販売実績。お土産品としての購入以外にも地元の方々の購入も予想以上に伸びている。

期間

2004年4月から2007年11月（報告書作成期間含まず）

委託者

株式会社クレイ

研究体制

プロジェクト型

担当

デザイン科 視覚デザイン専攻：寺井剛敏 准教授
 視覚デザイン専攻4年：中谷亜未
 視覚デザイン専攻2年：石毛沙恵子、笠本真代、二木舞羽、西岡寛礼、松林洋輝

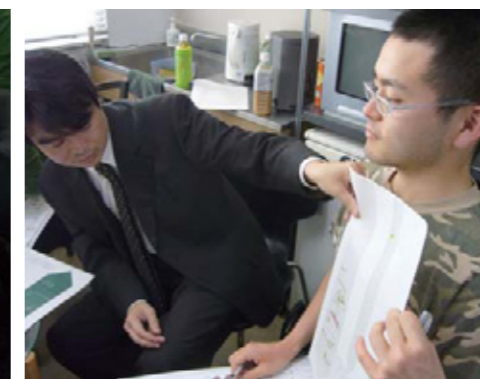
PROCESS

- 2007.04.01 制作依頼
- 2007.04.20 オリエンテーション
- 2007.05.14 22名より40案が提案
- 2007.05.21 40案より選考し6案へ絞り込む
- 2007.05.22~07.18 デザイン作業及び最終データ入稿
- 2007.11.03 商品完成



オリエンテーション

株式会社クレイ担当より、ネクタイに求めるイメージやモチーフなどのオリエンテーションを受け、デザイン科3専攻を中心に募集。提案された22名（40案）の中から6名（6点）を採用。選ばれた学生に対して、社長よりネクタイデザインの注意点などの説明を受けた。



デザイン調整

実際のサイズでカンパを作成し、柄の大きさなど詳細を検討。



デザイン修正

柄の位置や色などについて、製品化するためのポイントや注意点など、社長より細かい指示を頂き修正を行った。



最終デザインデータ作業

商品化に向けて色、柄の大きさなど、細かい調整を学生と協議しながら、最終デザインデータを制作。